

## 次世代へ光り輝く「教育立県ちば」を実現する有識者会議

令和元年5月9日（木）に、第3期千葉県教育振興基本計画の策定に向けて、大学教授等の有識者・専門家から千葉県教育の施策や具体的な取組について意見を伺うため、「第1回 次世代へ光り輝く『教育立県ちば』を実現する有識者会議」を開催しました。

会議では、各委員から千葉県の教育のあり方や第3期計画策定の方向性などについて幅広く御意見をいただきました。



### (1) 委員（10名）

さだひろさいこ      なかやまおさむ      あまがさしげる      おおたのりこ      くるしまひろし  
 貞廣 齋子座長、中山 理 副座長、天笠 茂 委員、大田 紀子委員、久留島 浩 委員、  
 さいしょうじ ななえ      すずき      ぜにやまさみ      ふくなかよしあき      わたなべしげき  
 最 勝 寺 奈 苗 委員、鈴木 みゆき 委員（欠席）、銭谷 眞美 委員、福中 儀明 委員、渡部 茂樹 委員

### (2) 委員の主な意見

- ・ 次期計画の策定に向けて、千葉ならではの持ち味を生かしつつ、県として足りないところをどう補っていくかということ議論していく必要がある。
- ・ 千葉県の学校を、高い能力と気持ちを持った学生に選んでもらえる職場にしていきたい。
- ・ 千葉県が持つ歴史文化資産や、質の高い博物館を活用した、千葉県ならではの教育を進めることができるとよい。
- ・ 千葉は首都圏にありながら、非常に自然が豊かで、山も川も海もある。そうした自然の魅力を生かした教育を、次期計画に盛り込んでいただきたい。
- ・ あらゆる教育の原点は家庭にあるので、社会全体で子供を育てるという観点から、積極的に家庭教育を支援する必要がある。
- ・ 部活動指導や外国人児童生徒の日本語教育、貧困家庭の子供への学習支援などに、退職後の教員を活用することもできるのではないか。
- ・ 経団連が国に提出した意見書に、新しい教育課題に対応できる教員の養成確保がある。千葉県教育の目指す姿に、教員の目指す姿があればいいと感じている。
- ・ 学生の学び方も変わってきている。わからない言葉は携帯で調べて即座に答えを得る。そのような状況に我々教員が対応していけるかどうか重要だと思う。
- ・ 学校の再配置という面で、千葉のどこに住んでいても、非常にいい教育が受けられるということを担保していただきたい。